

◇-----◇
下水道の最新情報をお届けします！

発行日：2011. 9. 7

下水道機構の『新技術情報』 第12号

(財) 下水道新技術推進機構 <http://www.jiwet.or.jp/>

◇-----◇

先週は、台風12号が日本列島に猛威を振るいました。今週も未だに日本列島に影響を及ぼしています。台風の犠牲になられた方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、被災されたみなさまに心よりお見舞い申し上げます。

さて、今週も機構メールマガジン『新技術情報』第12号をお届けします。

業務に、Tea Breakにご活用ください。

～トピックス～

☆インフォメーション

・平成22年建設技術審査証明事業43技術をホームページへ掲載し、今回から過年度分も合わせて技術別に分類しました。

・避難訓練を実施しました@下水道機構

・「下水道展'11 東京」を振り返って

☆機構の動き

・今週は、第296回技術サロン(9月8日(木)17:00～18:00@機構8F会議室)が開催されます。ゲスト：東京都下水道局 松本明子氏、テーマ：「下水道事業における新たな広報戦略」

☆Tea Break

・円海山周辺のハイキング (山ガールさんからの投稿です)

☆みなさまからのコラム

・皆様からの情報を募集しています！

☆国からの情報

・9月6日付けの下水道ホットインフォメーションです

インフォメーション (最新の話です)

○平成22年建設技術審査証明事業43技術をホームページへ掲載しました。

今回から年度別と技術別に閲覧できるようにし、見易く、求める技術を探し易くしました。なお、一覧表の技審証番号をクリックすると要約版の PDF ファイルがご覧いただけますので、技術導入の際の検討等にご活用ください。

閲覧はこちら→http://www.jiwet.jp/examination_proof/list/index.htm

○避難訓練を実施しました@下水道機構

9月1日は防災の日でしたが、機構でも、避難訓練を行いました。大地震発生を想定し、机の下に隠れるなどの初期対応から、全員に配布されている折りたたみヘルメットをかぶり、近くの避難所まで避難するというものでした。今年は、大震災が発生し、いざという時にどうしたらいいか分からなかった経験をされた方もたくさんいるかと思います。その経験をふまえて、今回の避難訓練は、皆さん一層、真剣な面持ちで臨んでいました。職員の中には、避難場所を知らなかった方もいて、日頃から避難訓練などで備えをしておくことの大切さを改めて認識させられました。皆さんの職場でも、「いざというときの備え」は十分ですか？

○「下水道展'11 東京」を振り返って

7月に開催された下水道展では、当機構のスローガンである「技術の橋わたし」から「橋」をイメージ化したブースで、研究成果等を含む当機構の事業や主な活動、今回の震災に関連して、当機構が実施した調査・支援活動、地震対策技術、エネルギー対策技術等について、パネル等で展示ご紹介いたしました。

当機構ブースの来場者数は、昨年の名古屋会場を下回りましたが、一昨年の東京会場を上回り大勢の皆様に来場していただきました。来場された方からは、「ブースが3小間から4小間に増え、スペースが広がり、解放的で来場しやすい雰囲気であった」との感想をいただきました。技術相談もお受けしましたが、バイオマス、資源化など汚泥関連、審査証明、浸水対策、地震対策に関するものが多かったです。お受けした相談については、今後も引き続きフォローさせていただきます。なお、技術相談については、随時実施しております。お気軽にご相談下さい。

機構の動き (機構の行事予定です)

○9月8日(木)17:00~18:00

第296回技術サロン(ゲスト:東京都下水道局 松本明子氏、
テーマ:「下水道事業における新たな広報戦略」、場所:機構8階会議室)

参加申し込みはこちら→<http://www.jiwet.jp/school/school-07-296.htm>

○9月13日(火) 13:30～16:00

第57回(平成23年度第1回)新技術現場研修会

(場所:東京都勝島ポンプ所流入管渠工事作業所 3階、研修内容:大断面(仕上がり内径8.5m)

シールド施工における急曲線S字カーブなど技術的な課題と対応)

※参加申込は締め切りました

○10月12日(水)13:00～17:00

平成23年度技術マニュアル活用講習会 (東京会場、場所:機構会議室)

10月14日(金)13:00～17:00

平成23年度技術マニュアル活用講習会 (東京会場、場所:機構会議室)

10月21日(金)13:00～17:00

平成23年度技術マニュアル活用講習会(大阪会場、場所:大阪科学技術センター)

講習会内容、参加申込はこちら→<http://www.jiwet.jp/school/school-05-06.htm>

☆9月7日(水) 13:30～ 関水コン夏期講座(場所;昭和設計大阪ビル)

当機構研究第一部の森田部長が出席し、「地震対策とBCPについて」のテーマで講演(講演時間 13:35～14:15)します。

☆9月8日(木)静岡県下水道建設技術研究会講習会講演(焼津市ホテルアンピア松風閣)

当機構研究第一部の森田部長が出席し、「東日本大震災における下水道施設の被災状況と復旧について」のテーマで講演(講演時間 12:50～14:00)します。

☆9月11日～16日 第12回 International Conference on Urban Drainage (都市下水道国際会議) (ブラジル国ポルトアレグレ) 当機構研究第二部の大嶽研究員が参加し、「新潟市における雨水浸透の維持管理方法に関する研究」について口頭発表を行います。

Tea Break (機構職員の感じるまま)

○円海山周辺のハイキング (山ガールさんからの投稿です)

自宅の近くに円海山や大平山という山があります。円海山の名は、東の中腹にある円海山護念寺の山号に由来します。護念寺は江戸時代から灸で有名で、「峰の灸」と呼ばれ、落語の『強情灸』にも登場するそうです。また、周囲には瀬上・氷取沢・金沢の各市民の森があり、かながわの美林50選にも選ばれています。鎌倉市方面につながるハイキングコー

スがあり、横浜市民の手軽な行楽地として知られています。

近年、健康志向が高まり、女子の間で、ハイキングや軽い登山が人気を呼び、NHKでも「あなたもこれから山ガール全9回」を放映しています。

休日には、朝7時頃に目をさまし、リュック、水、おにぎり、携帯用のGPSを用意し、9時頃に自宅を出発し、鎌倉や北鎌倉駅まで電車で行きます（自宅から30分程度）。鎌倉の建長寺や瑞泉寺から天園や太平山山頂付近で少し早めの昼食をとり、関谷奥見晴台の山道を経由し地元の金沢自然公園の動物園に帰ります。このルートは、おおむね2～3時間程度のハイキングコースとなります。帰りは、この動物園からコアラバス（金沢動物園から入り口まで運行）に乗って入り口まで下り、その後10分程度歩くと自宅に到着します。

普段、街を歩いている見ず知らずの人に挨拶をする人はいないと思いますが、山では、すれ違う老若男女が「こんにちは・・・」と挨拶します。これは、実に気持ちよいものです。なぜ挨拶するのかというと、それには安全上の理由もあるそうです、私も軽登山であと一歩間違えたら・・・という状況がありました。そのため、狭い道ですれ違う時や追い越す時に挨拶をすることで接触し事故にならないためと、自分の存在を他人に記憶させる目的もあるようです。もし遭難した場合に、挨拶をしていれば「あの人と〇〇峠ですれ違った」などという目撃情報を辿ることで、より遭難場所を特定し易くなり、早い救助ができるようになるということです。

それはともかくとして、みなさんも気軽にハイキングして「山〇〇〇」になってみませんか!?

みなさまのコラム（皆様からお寄せいただいた情報です）

○掲載情報募集中！

機構の新技術情報でお伝えしたい情報をお持ちの方は本コラムをご活用ください。

情報提供はこちらまで→ jiwet@jiwet.or.jp

※原則 400 字以内。なお、お寄せいただいた情報はそのまま掲載することを基本としていますが、掲載の可否は当機構にて判断させていただきます。

下水道ホットインフォメーション（2011.9.6 付、国からの最新情報です）

送信元：国土交通省都市・地域整備局下水道部下水道事業課企画専門官 石井宏幸

災害査定などで不在の日が多いため配信が不規則になっており、申し訳ありません。

今週は、塩路下水道事業課長からメッセージを頂戴しております。

また、JS から情報を頂いています。

=====

8月1日付で下水道事業課長に就任いたしました塩路です。本省下水道部は平成15年7月に転出して以来ですので久しぶりの勤務となりますが、どうぞよろしくお願いいたします。

他の分野を経験して下水道に帰ってくると、いつも思うのは、下水道は本当に技術開発の余地の多い、また、技術開発がまだまだ必要な分野だということです。しかも、何も大がかりな技術開発ばかりでなく、例えば近年話題になっている面整備管やマンホールの耐震対策などは、現場での工夫・アイデアが大きな成果になっている好例だと思います。この辺りを切り口に、産学官、各種団体等ががっちりスクラムを組み、明るい、働きがいのある下水道界を作っていければと考えています。

近年は本省の入口にゲートもできて若干立寄りにくい雰囲気となっておりますが、その分下水道事業課では大歓迎いたしますので、ぜひお気軽にお立寄りいただき、様々なお話をお聞かせいただければと思います。よろしくお願いいたします。

=====

★★★★★ 今週のラインナップ ☆☆☆☆☆

- 台風12号による被害状況について【下水道事業課】
- 「下水道資源有効利用に関する提言」とりまとめ【下水道管理指導室】
- 平成22年度末の汚水処理人口普及状況等【下水道事業課】
- 「発注者・受注者間における建設業法令遵守ガイドライン」の策定について
- 脱水汚泥の放射能測定業務を開始【JS】

=====

○台風12号による被害状況について【下水道事業課】

(9月5日14時現在)

人的被害 死者26名、行方不明者53名、重症21名、軽症76名

住宅被害 全壊77棟、半壊11棟、一部破壊83棟、床上浸水1,360棟、床下浸水4,121棟

(9月6日14時現在)

下水道施設被害

大阪府和泉市：河川護岸の崩壊により雨水排水管が破断(27m)、応急対応中

兵庫県姫路市大塩終末処理場：浸水により一時機能停止、現在は応急復旧済み、水処理機能に影響なし

姫路市飾磨雨水ポンプ場：浸水により機能停止、応急対応中(仮設ポンプ)

多可町中浄化センター：浸水により一時機能停止、現在は応急復旧済み、

水処理機能に影響なし

高砂市沖浜ポンプ場：浸水により一時機能停止、現在は応急復旧済み

http://www.mlit.go.jp/saigai/saigai_110901.html

○「下水道資源有効利用に関する提言」とりまとめ【下水道管理指導室】

官民連携による下水道資源の有効利用の促進に向けて、昨年より「官民連携による下水道資源有効利用促進制度検討委員会」（座長：津野京都大学大学院教授）において、特に、省エネルギー

・温室効果ガス削減面で重要な役割を果たしうる下水汚泥固形燃料、下水バイオガス、下水熱の三分野において有効と考えられる PPP（Public Private Partnership）による資源有効利用推進施策について検討を行ってきました。

本委員会の検討結果を踏まえ、2011年8月25日に、「下水道資源有効利用に関する提言」を取りまとめましたので、お知らせいたします。

提言の主な内容は、「下水汚泥固形燃料の JIS 化による固形燃料市場の活性化」「下水処理場の地産地消エネルギー供給拠点化の推進」「下水バイオガス等による地域エネルギー施策への貢献の推進」「下水管ネットワークの民間事業者による低コスト有効利用の推進」などです。是非、ご一読を。

下水道資源有効利用に関する提言（概要）

<http://www.mlit.go.jp/common/000164145.pdf>

下水道資源有効利用に関する提言（本文）

<http://www.mlit.go.jp/common/000164146.pdf>

○平成22年度末の汚水処理人口普及状況等【下水道事業課】

国土交通省、農林水産省、環境省では、平成22年度末の全国の汚水処理人口普及状況を取りまとめました。なお、今年度調査においては、東日本大震災の影響により、岩手県、宮城県、福島県を調査対象外としているため、同3県を除いた44都道府県の集計データは、今回、参考の資料として取り扱っています。

岩手県、宮城県、福島県を調査対象外とした場合、平成22年度末の全国の汚水処理施設の処理人口は、平成21年度末から89万人増加し、1億531万人となりました。これを総人口に対する割合でみた汚水処理人口普及率は、86.9%（平成21年度末については、全国で85.7%、3県を除いた場合は86.1%）となりました。

また、岩手県、宮城県、福島県を調査対象外とした場合、下水道処理人口普及率は75.1%となり、下水道整備人口も前年度に比べて、91万人増加（前年の数値から岩手県、宮城県、福島県に係る数値を除いたデータでの比較）。

汚水処理人口普及状況

http://www.mlit.go.jp/report/press/mizukokudo13_hh_000139.html

下水道整備状況 http://www.mlit.go.jp/report/press/mizukokudo13_hh_000140.html

○「発注者・受注者間における建設業法令遵守ガイドライン」の策定について

発注者と受注者との間の契約は、建設生産システムのスタートとして位置づけられるものであり、その適正化を図ることは、建設業の健全な発達のみならず、適正な施工の確保を通じて発注者等の利益を図る上でも必要なものです。

このため、国土交通省建設業課において、発注者と元請企業との契約関係の適正化が促進されるよう、契約当事者である受発注者がどのような対応を取るべきか、また、どのような行為が不適切であるかを明示した「発注者・受注者における建設業法令遵守ガイドライン」を策定しましたので、お知らせします。

http://www.mlit.go.jp/report/press/totikensangyo13_hh_000129.html

●脱水汚泥

の放射能測定業務を開始【JS】

日本下水道事業団(JS)では、下水汚泥等から放射性物質が検出されている状況を受け、自治体における汚泥の放射能対応を支援するため、8月29日から脱水汚泥の放射能測定業務を開始しました。測定は1検体から受付け、迅速に結果をお知らせします(JSにサンプルが到着してから2業務日以内には結果をFAXします)。なお、測定単価は、1検体あたり2万円(税、送料込)です。

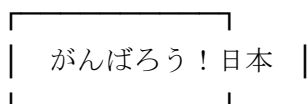
詳しくは、下記ホームページをご覧ください。

お問合せは、JS技術戦略部新技術推進課(TEL:03-6361-7838、housha@jswa.go.jp)へどうぞ。

測定業務の詳細 http://www.jswa.go.jp/gijutu_kaihatsu/topics/housha.html

記者発表資料 <http://www.jswa.go.jp/kisya/h23pdf/230825kisya.pdf>

※担当者談「若干宣伝をさせていただきますと、自治体支援ということで、測定の迅速性と、リーズナブルな料金が特徴です。ちなみに、既にいくつかの自治体さんからは問合せ・発注も頂いております。」



◆◆◆◆ 東日本大震災関連 ◇◇◇◇

◎今週のトピック ～復興関連施策の事業計画及び工程表について～

8月26日、「東日本大震災からの復興の基本方針」(7月29日決定)に基づき、各府省の

復興施策

の事業計画及び工程表が政府の東日本大震災復興対策本部でとりまとめられました。このうち下

水道を含む国土交通省関連施策の事業計画及び工程表は、下記 URL をご覧下さい。

http://www.mlit.go.jp/report/press/sogo08_hh_000048.html

○下水道施設被害状況（9月1日時点）

下水処理場 | 震災当初 | 現在

稼働停止		48		16	※1
施設損傷		63		—	
正常に稼働		—		95	※2
不明		9		9	※3
<hr/>					
計		120		120	

※1 応急対応中 13、準備中 1、汚水発生なし 2

※2 ほぼ通常の処理を含む

※3 福島第一原発周辺

ポンプ場 | 震災当初 | 現在

稼働停止		79		19	※1
施設損傷		32		18	
正常に稼働		—		74	※2
不明		1		1	※3
<hr/>					
計		112		112	

※1 汚水 3（すべて応急対応中）

雨水 16（応急対応中 6、排水対象なし 10）

※2 ほぼ通常の排水を含む

※3 福島第一原発周辺

下水管きょ（テレビカメラによる調査の結果）

11 都県の 129 市町村等（うち調査済 126）

被害延長/総延長 573km/64,730km

※被害状況については国土交通省 HP にも掲載

http://www.mlit.go.jp/saigai/saigai_110311.html

http://www.mlit.go.jp/crd/crd_sewerage_fr_000007.html

=====

【参考情報】

◆汚染下水汚泥保管、日光で県が説明会 住民、説明に納得せず <8/19 下野新聞>

<http://www.shimotsuke.co.jp/town/region/north/nikko/news/20110819/591228>

◆放射性焼却灰 県内の保管場所に 6 4 0 0 トン 毎日 7 0 トン増 満杯危機 神奈川
<8/20 東京新聞>

<http://www.tokyo-np.co.jp/article/kanagawa/20110820/CK2011082002000046.html>

◆北九州市の「海外水ビジネス」って何？ /福岡 <8/21 毎日新聞>

<http://mainichi.jp/area/fukuoka/news/20110821ddlk40070190000c.html>

◆保健環境センター、施設公開 <8/22 中国新聞>

<http://www.chugoku-np.co.jp/News/Tn201108220035.html>

◆下水処理施設セシウム検出 焼却灰の搬出再開 /長野 <8/23 毎日新聞>

<http://mainichi.jp/area/nagano/news/20110823ddlk20040093000c.html>

◆中国・蘇州と環境連携 金沢市、姉妹都市 3 0 周年で <8/24 富山新聞>

<http://www.toyama.hokkoku.co.jp/subpage/H20110824103.htm>

◆焼却汚泥、行き場なし 群馬 <8/24 朝日新聞>

http://mytown.asahi.com/gunma/news.php?k_id=10000001108240005

◆セシウム検出、秋田市の下水処理施設 国の基準値は下回る

<8/26 秋田魁新報>

<http://www.sakigake.jp/p/akita/national.jsp?kc=20110826c>

◆放射性汚泥処理「国が責任持つて」 知事が政府方針を批判 /新潟

<8/26 毎日新聞>

<http://mainichi.jp/area/niigata/news/20110826ddlk15040243000c.html>

◆関東で記録的雨量 東京・練馬 9 0 ミリ、都内 2 9 棟床上浸水

<8/27 毎日新聞>

<http://mainichi.jp/select/weathernews/news/20110827ddm001040067000c.html>

